

## 第3 地域ロータリー財団チームニュース第1号

---

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長年度が始まりました！



### 2022-23 年度会長イニシアチブ

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描いています。「イマジン ロータリー」のテーマを推し進めるため、「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) へのコミットメントの強化」「みんなを温かく受け入れるクラブづくり」「女児のエンパワメント」「参加者基盤の拡大」の四つの会長イニシアチブに注力します。

**多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) をイマジンする**

多様性は、ロータリーの長年にわたる中核的価値観の一つであり、最大の強みです。ジョーンズ会長エレクトは、ロータリーの文化が多様性・公平さ・インクルージョンを体現していくには、多くのことを行う必要があると理解しています。DEI タスクフォースからのフィードバックと指針の下、ロータリーは DEI へのコミットメントを強化し、ロータリーに関わるすべての人の貢献を大切に、公平さを助長し、人びとをより温かく迎えるインクルーシブな文化を創り出すことを目指します。

ロータリーが人びとを温かく迎え入れ、よりインクルーシブなコミュニティとなれるよう、各自が以下を行うことをジョーンズ会長は奨励しています：

1. ロータリーにおける DEI についてより良く理解する(定義の理解。互いの違いを尊重し、大切にすることなど)。
2. DEI がなぜクラブや地域社会にとって大切なのか、また、DEI の原則を取り入れることがいかにクラブの成長と強化につながるかを理解する。
3. DEI に対する認識を高める(地域社会を反映した、クラブの DEI 委員会の創設を含む)。
4. クラブや地域社会で DEI に基づいて行動を起こす(例: DEI について知識を深め、より効果的に推進できるよう、地域社会におけるさまざまなグループについて知る)。

## みんなを温かく迎え入れるクラブ体験をイメージする:心地よさと配慮

クラブの環境と体験がすべての会員と参加者にとって歓迎的で、インクルーシブで、楽しいものであるようにすることが大切です。調査によって分かっていることは、会員にとっての「心地よさ」と「配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最大の要因であり、会員を維持するための最善の手段であるということです。これは、会員と参加者がロータリーとの関わりから何を求めているかについて耳を傾け、理解することから始まります。なぜ退会者が出るのかをより良く理解するために退会者アンケートを行うことも重要ですが、退会するまで待つ必要はありません。ジョーンズ会長は、新会員の要望や期待を理解するために、入会直後に入会者へのインタビューを行うことをクラブリーダーに強く促しています。もちろん、すべての既存会員に定期的にアンケート調査を実施することで、会員としての体験について意見や感想を伝える機会を与えることも重要です。

## 女兒のエンパワメント

ジョーンズ会長エレクトは、シェカール・メータ元 RI 会長による 女児のエンパワメントの重要性を認識し、このイニシアチブを継続します。女児のエンパワメントの活動を実施している場合は、ロータリーショーケースでご紹介ください。

## インパクトをイマジンする:参加基盤を広げるメディアツアー

ロータリーの参加者基盤を年間を通じて拡大することを想像してください。ジョーンズ会長は、ロータリーの各重点分野とポリオ根絶を代表する八つの奉仕プロジェクトを訪問します。このツアーでは、ロータリーがどのように測定可能な変化をもたらすかについて事例を紹介すると同時に、新たな参加者、潜在的なパートナー、インフルエンサーにロータリーを紹介します。

ロータリーの多様性、公平さ、インクルージョンに関する方針については My Rotary の以下をご参照ください。

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/diversity-equity-and-inclusion>

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

## ウクライナ危機へのロータリーの対応

ロータリーは、ウクライナでの戦争による人命の喪失および人道的危機の深刻化を深く懸念しています。私たちは地域に根づいたネットワークと数十年にわたる経験を生かし、現地で迅速に行動を起こしています。



2720 地区熊本東南ロータリークラブのウクライナ支援:ポーランドのジェシェフ・ロータリークラブを通して、ウクライナのキーフの子供達にクマモン歯ブラシや衛生用品が届けられました。

## 災害救援補助金の申請

ロータリー地区が災害救援基金から補助金を申請する方法をご覧ください。

現在から 2022 年 12 月 31 日まで、地区は災害救援補助金を申請し、水、食料、シェルター、医療品、s 衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。地区は、地元自治体や地元団体と密に協力し、補助金が地元の具体的ニーズに充てられるようにすべきです。

ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区 **10 万ドル**までの補助金を申請できます。これに該当する地区には以下が含まれます：

- ・第 1911 地区(ハンガリー)
- ・第 2231 地区(ポーランド)
- ・第 2232 地区(ベラルーシとウクライナ)
- ・第 2240 地区(チェコ共和国とスロバキア共和国)
- ・第 2241 地区(モルドバ共和国とルーマニア)

上記と同じ期間、これ以外の地区も 25,000 ドルの補助金を申請できます。地区は、災害救援補助金を組み合わせ、最前線の国々における物資や機材のより大規模な発送を支援することができます。

詳しくは、マイロータリーのウクライナ支援の申請書をご覧ください。



今ロータリー年度より、ローターアクトクラブはロータリー財団への寄付に対する認証をより柔軟に達成できるようになりました。

今年度より、会員が合計で 100ドルをロータリー財団に寄付したクラブは、ローターアクト寄付達成証を得ることができます。これまでのように、寄付する最低人数の要件はなくなり、ローターアクトクラブの会員がグループとして、個人的に、または Raise for Rotary (日本では現在調整中)を通じて寄付することができます。

これにより、より多くのローターアクターが財団を支援し、最も最適な方法で寄付を寄せることができます。クラブ会員が全員で協力して、達成証を得るための最善の方法を決めることができます。財団への寄付は、世界中での人道的プロジェクトへの資金につながります。

今回の変更は、ローターアクトの基盤拡大というロータリーの継続したコミットメントの一部です。ローターアクトクラブは、地区補助金を受領し、グローバル補助金の提唱者となり、ローターアクターをロータリーの奉仕賞に推薦することができるようになりました。これには、超我の奉仕賞が含まれます。

是非、あなたの地区のローターアクトクラブに周知をお願いいたします。

## 【寄付・認証の手引き 更新】

財団室では、「寄付・認証の手引き」を作成し毎年更新しております。  
ご寄付の手続き方法や認証についてなど、日頃より皆様から多くいただくお問い合わせをもとに情報をまとめておりますので、ぜひ本年度もご活用いただけましたら幸いです。

[寄付・認証の手引き 2022-23 年度版](#)



～よくある質問(例)～

- Q RILETの確認方法を教えてください。・・・P.16
- Q ポール・ハリス・ソサエティ会員の寄付は、どうすればいいですか。・・・P.17
- Q 本日送金をしましたが、送金明細書がまだ用意できていません。・・・P.18
- Q 確定申告用の領収証が届きましたが、寄付者がちがうようです。・・・P.18
- Q 間違った認証品が届きました。／認証品が届きません。／寄付の累計が違います。・・・P.34

上記以外にも、様々なお問合せへの回答や各種レポートの閲覧方法など、寄付・認証に関わる役立つ情報をまとめております。ぜひご一読ください。

<https://onedrive.live.com/?authkey=%21ACXP%2Duc4cUKthP8&id=E807CCC4EA676F6E%21479&cid=E807CCC4EA676F6E>

\* 上記 URL から、寄付認証の手引きをダウンロードできます。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

## 世界ポリオデーのイベントに参加しましょう！



### 「ポリオデー・ポータルサイト」開設のお知らせ

日頃はロータリー活動に多大なるご尽力をいただき、誠にありがとうございます。  
いよいよ新年度のスタートも間近となりました。

さて、先般みなさまに『「POLIO-DAY」御参加のお願い』をお送りいたしました。  
そこに記載しましたように、次年度は地域コーディネーターが連携してポリオデーの支援体制を整えて活動を進めております。その一環として、地区やクラブのみなさまに活用していただける「ポリオデー・ポータルサイト」を立ち上げましたので、お知らせ致します。

<https://www.endpoliorotary.club/home>

ここにはポリオデーを計画するのに役立つさまざまな情報が満載されております。また、ここにみなさまのポリオデーの計画をアップしていただくことで、コーディネーターが地区やクラブと連携しやすくなり、みなさまのイベントへの支援を迅速かつ効果的に行えるものと思われます。同時に、地区やクラブの間をつなぐ情報網も構築されていきます。

このサイトをガバナーエレクトより地区内の全クラブにお知らせいただき、日本全国で数多くのポリオデーのイベントが開催されますよう、ご理解とご協力をお願いする次第です。

#### 「ポリオデー計画書」の提出方法

サイト内の「計画提出」のタグをクリックし、みなさまのポリオデーのイベントに関する情報をフォームにある質問に答える形式で入力していただき、送信ボタンを押してください。この計画書は、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長ご臨席予定の 11 月のロータリー研究会で発表していただく事例選択の上でも、参考資料とさせていただきます。

\*\*\*\*\*

ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター補佐の役割

- \* 年次基金への寄付の重要性について地区リーダーを通じて、クラブに伝える。
- \* ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)と協力して、クラブへポリオ寄付を推進する。
- \* 地区リーダーと協力して年次基金への寄付を推進する。
- \* 地区リーダーと協力して、グローバル補助金・地区補助金への参加を促す。
- \* ポリオ根絶・ロータリー平和センター・重点分野などの財団活動の周知を図る。
- \* 地区の財団活動への支援を行う。
- \* E/MGA と協力して、恒久基金・大口寄付の推進を図る。

## 2022-23年度 目標

2022-23 年度ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)

第一地域 飯村 慎一 [shiimura@koyonet.com](mailto:shiimura@koyonet.com)

第二地域 服部 良男 [ceo@hattori.org](mailto:ceo@hattori.org)

第三地域 永田 壮一 [sochan0001@me.com](mailto:sochan0001@me.com)

2年余に及ぶ新型コロナ禍で社会も、ロータリー活動も大きな変化が生じました。その中で日本のロータリークラブの皆様には、ロータリー財団への寄付、人道奉仕活動を継続していただき、誠にありがとうございます。

その中で、あらためて、ワクチンの重要性を再認識しました。ロータリー財団の最も重要なプロジェクトは、「ポリオ根絶」であり、ワクチン接種の継続こそが根絶への鍵であります。達成まであと少しです。今年度は、各地区で、10月24日の世界ポリオデーにイベントを企画、実施してポリオ根絶にご協力の程宜しく申し上げます。

さて、日本でも会員数の減少する中、ロータリー財団への寄付額を増加するには、大口寄付を増やす、恒久基金、冠名基金など、多様な寄付を皆さんに知っていただき、推進することや、ロータリアン以外の個人やパートナー、企業にイベントや、プロジェクトを通じて寄付をしていただくことが重要だと思います。世界ポリオデーなどのイベントやプロジェクトに地域の人やパートナーと一緒に認知度の向上に努めていきたいと思っています。

新しく加わった7つ目の重点分野「環境」は各地域で活動している人々や団体が多く、パートナーとして協働し易い分野ではないかと思っています。

ロータリー財団は、企業で言えば、財務と企画部門であります。マーケティングと広報部門の公共イメージ向上 (RPIC) と協働して、会員増強 (RC) に貢献していければと願っています。

。RRFC へのお問い合わせ、ご相談をお待ちしております。

|            |  |
|------------|--|
| ■ 年次基金     | ・1人当たり150ドル<br>・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する<br>・Every Rotarian Every Year (年次基金への寄付) の推進<br>・ポール・ハリス・ソサエティの推進   |
| ■ ポリオプラス基金 | ・1人当たり30ドル<br>(1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)   |
| ■ 恒久基金     | ・冠名基金を各地区1件以上設立  |
| ■ 大口寄付     | ・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本で100件<br>「大口寄付 0地区」ゼロを目指す<br>・AKSを日本全体で10名増やす<br>中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す |
| ■ DDF の活用  | ・各地区期末DDF残高ゼロを目指す<br>・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈<br>・ロータリー平和センターへの寄贈<br>・7つの重点分野への寄贈                              |
| ■ 奉仕活動の推進  | ・世界ポリオデーにイベント企画、実施<br>・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進<br>・ロータリー平和フェローシップの推進  |

**2022-2023 年度目標を以上のように決定いたしました。**

**特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」に向けて、皆様のご協力をお願いいたします。**

### 編集後記

あつというまに新年度も1ヶ月を過ぎてしまいました。セミナーなどで発刊が遅れ、誠に申し訳ありません。もとより筆不精のため、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。今年度から2年目のRRFCの任につかせていただきましたのでこれからご指導賜りますようお願いいたします。さて

就任初年度の昨年度は、何をしていたか分からず、第1地域羽部大仁 RRFC、第2地域服部良男 RRFC に指導を仰ぎながら何とか1年を終わりました。2年目の今年は、そのご指導を思い返しながら担当地区へのサポートを ARRFC の皆さんと頑張っていこうと思っております。何卒よろしくお願いいたします。1年目の反省点は、「年次基金ゼロクラブゼロ」が第3地域において達成できなかったことです。全くもって私の不徳の致すところであり、責任を痛感しております。今年は、該当地区へ説明をしっかりと行いながらご協力をお願いして参ります。ご存知のように年次基金寄付は3年後にその地区の財団補助金の財源となる貴重な資金源です。是非ご理解をいただきたいと思っております。

今年度の佐藤芳郎 RI 理事は日本中の地区・クラブが「世界ポリオデー」に何かイベントを行うよう私たち地域リーダーに指示されました。第2地域 ARPIC の桑澤 PDG が素晴らしい「ポリオデー・ポータルサイト」を制作され各地区で色々なイベントが企画されているようです。第3地域でもたくさんのイベントが行われる予定です。多くの市民の方にロータリーを知っていただくように、私たちもなるべく多くのイベントに参加したいと思っております。

今年1年、第3地域ロータリー財団チームをよろしくお願いいたします。

### 第3地域ロータリー財団チーム

RRFC 永田壮一 E/MGA 末長範彦 EPNC 前田直俊  
ARRFC 四宮孝郎  
ARRFC 吉原久司  
ARRFC 駒井英基

文責：永田壮一